

# ■「北海道マリンビジョン 21 コンテスト 2017 表彰式」について

北海道開発局 農業水産部 水産課

平成 30 年 7 月 3 日に「北海道マリンビジョン 21 促進期成会」（以下、「期成会」という）の総会が関係者約 100 名の出席により札幌市内で開催され、総会に併せて、「北海道マリンビジョン 21 コンテスト 2017」の表彰式が行われましたので報告します。

各地域で策定された地域マリンビジョンの実現に貢献する優れた取組を表彰し、取組の更なる推進や他地域への活動の普及を図るため、期成会が主催し、当局の後援により「北海道マリンビジョン 21 コンテスト」を平成 20 年度から開催しています。

今回、第 10 回目となるコンテストでは、昨年度までの「総合部門」「個別取組部門」の表彰を、「最優良賞」「優良賞」「奨励賞」に見直して実施し、最優良賞は寿都地域マリンビジョン協議会、優良賞は砂原地域マリンビジョン協議会、積丹地域マリンビジョン協議会、根室地域(歯舞地区)マリンビジョン協議会及び雄武地域マリンビジョン協議会、奨励賞は松前江良地域マリンビジョン協議会及び遠別地域マリンビジョン協議会が受賞し、それぞれ関係者に表彰状が授与されました。

受賞した取組の概要は以下のとおりです。

## 寿都地域【最優良賞】

寿都産かきを「ことぶき寿かき」として商標登録し、ポスター作成により知名度向上を図る等のブランド力の強化と販路拡大の取組を実施するとともに、鮮度保持の効果と付加価値を高めるため、秋サケやヒラメなどの活メ技術を向上させる取組や、海水シャーベット水施設を整備しました。

また、平成 29 年 6 月 3 日にオープンした「そば処 鯉御殿」は漁で栄えた時代を象徴する歴史的建造物「鯉御殿」の土蔵を改修したものであり、寿都産の魚介類や野菜を使用した料理を提供し、寿都の歴史を感じながらまちの魅力発信や交流人口の拡大に繋げる取組です。

さらに、年間 300 万人の観光客が訪れるニセコ地域にて、寿都町の魅力を発信することを目的として、レストランと鮮魚ショップを併設した「寿都アンテナショップ神楽」を平成 29 年 11 月 11 日にニセコ町に開設しました。地元ニセコ地域の人々に加え、国内外の観光客から広く利用されており、交流人口の拡大や水

産物のブランド化などへの波及効果が期待されます。

これらの取組は、水産業の振興と地域経済の活性化の取組として、先駆的・独創的であり、他地域マリンビジョンへのモデルとなる総合的な取組であることが高く評価されました。



最優良賞の表彰状授与の様子

## 砂原地域【優良賞】

平成 23 年度から漁協女性部が地元の昆布とホタテを用いて開発・販売した「ほたて昆布きんちゃく」は、平成 28 年度に北海道が認定する「北のハイグレード食品+」に認定されたことにより、パッケージデザインや正味数量の変更を条件にバイヤーからの引き合いを受け、多角的に検討を行い、販路拡大や新たな商品開発が期待されています。

漁協女性部によるこれらの取組は、未利用資源の有効活用や付加価値化等、地域水産物のブランド化や消費拡大の取組として高く評価されました。

## 積丹地域【優良賞】

「さくらます祭り」は、早春の漁業資源であるサクラマスを活用し、夏季に限定的となっている観光シーズンの長期化を図るとともに、保護水面河川「余別川」で実施している種苗放流や森林保全活動を町内外に伝えることを目的に実施しました。

サクラマスの保護水面についての講演のほか、稚魚の放流、サクラマス料理の試食等を実施し、イベント当日は町内外からの来場者で賑わいをみせ、稚魚放流や、余別川流域の散策、若手漁業者によるサクラマス

料理の提供により、来場者は「学び」と「食」の両方で余別地区の自然を楽しみました。

これらの取組は、春の観光資源としてのサクラマス  
の認知度向上を図るとともに、環境保全の重要性を伝える取組として高く評価されました。

### 根室地域(歯舞地区)【優良賞】

都市との交流・賑わいのある漁村地域づくりを目的に、地場産水産物のブランド化や各種イベント、遊覧船による周遊観光の他、各種体験学習や漁業者宅へのホームステイを積極的に実施するとともに、旅行会社や北方領土県民会議等に出向き、歯舞地域民泊・観光の誘致を行い、訪れた観光客や学生に対し、漁業体験や民泊を提供しています。

また、歯舞漁協関係者が、各地で開催されている農泊や観光シンポジウムに講師として当地区の取組について講演し、農泊(渚泊)の推進を図っています。さらに、農泊事業に取り組んでいる他地域を視察することで、当地域での新たな取組を模索し、さらなる誘致活動の拡大を図っています。

これらの取組は、道内における農泊(渚泊)の先駆的な取組であるとともに、地域資源を生かした新たな産業の創出が期待される取組として高く評価されました。

### 雄武地域【優良賞】

養殖昆布の越冬やウニの増殖等に利用されている元稲府漁港内の静穏域の更なる有効活用を図るため、ナマコ増殖用施設を設置して、稚ナマコを放流し、育成環境の調査を行いました。また、外海に近い環境での調査を行うため、西外防波堤背後の水面を活用した養殖調査も実施しました。

元稲府漁港内の静穏水域の天然ナマコに加え、昨年度から西外防波堤付近に調査範囲を広げ、親ナマコを放流することにより、より効果的な資源増大が期待されています。

これらの取組は、漁港水面を有効活用し、資源の維持・増大に結びつく取組として高く評価されました。

### 松前江良地域【奨励賞】

江良漁港では、江良蓄養施設管理委員会や松前さくら漁協の蓄養部会が中心となり、アワビ養殖、ホッケ蓄養、ウニ蓄養の試験を行っています。

これらの取組は、漁業者収入の増加につながるものとして期待されるものの、試験段階の取組として多く

の課題も抱えています。このため、関係者が一体となり支援することで発展や持続性が期待される取組として評価されました。

### 遠別地域【奨励賞】

遠別地域では、漁協青年部、商工青年部、農協青年部、遠別町役場組合青年部が「単独ではなく各産業が連携することで、今までにない活動ができないか」という観点で、「青年部連携地域活性化実行委員会」を設立し、地域活性化の取組を開始しました。

平成29年8月19日の仮装行灯パレード・仮装盆踊り大会にて、初の取組として、漁協、農協、商工会の各青年部が連携し、水産業などの地元産業のPRも兼ねてビアガーデンを開催するなど、若者交流事業を行い活動しています。

これらの取組は、水産業など地元産業の振興や地域活性化が大いに期待されるものであり、関係者の一層の連携により発展や持続性が期待される取組として評価されました。



優良賞の表彰状授与の様子

